

令和3年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

|      |               |     |             |                   |   |
|------|---------------|-----|-------------|-------------------|---|
| 法人名  | 社会医療法人<br>清風會 | 代表者 | 理事長<br>森 崇文 | 法人・<br>事業所<br>の特徴 | 社会医療法人が運営しており、医療機関（在宅支援診療所・地域包括ケア病棟）訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所との連携がとりやすい。「いつまでも住み慣れた街で一緒に自分らしく暮らす」そのための仕組み作りにより法人で取り組んでいる。一人暮らしの方でも認知症があっても、地域の自宅で長く暮らせるように、訪問介護に力を入れている。また、内服薬の管理がうまくできないことで入退院を繰り返すことがないように内服薬管理と健康チェックに力を入れている。医療がすぐ近くにある安心感を持っていただける事業所である。 |
| 事業所名 | あかるい農村つやま     | 管理者 | 小椋 美恵子      |                   |   |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有する<br>もの | 地域住民・地域<br>団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援セ<br>ンター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|--------------|---------------|-----|-------|----------------|-------|-------|-----|----|
|     | 人     | 人            | 4人            | 人   | 人     | 1人             | 人     | 2人    | 人   | 7人 |

| 項 目                             | 前回の改善計画  | 前回の改善計画に対する取組み・結果   | 意見  | 今回の改善計画  |
|---------------------------------|--|---|---|--|
| A. 事業所自己評価の<br>確認               | 8月中に中間の話し合いを行い、出来てない点を振り返る。情報共有手段としては、朝礼時の伝達を充実させる。新たに終礼を実施し伝達を充実させていく。経過記録を継続して細かく書く。帰宅直前の記録を充実させ変化があったときはその都度記録する。 | 8月中にまとめた話し合いはできなかったが、毎月の会議で業務改善を行い、目標に挙げていた終礼の開始や、記録の改善が出来た。またケースの話し合いを朝礼、終礼を利用して細やかにできるようになった。                   | カンファレンスや情報共有の継続することが必要です。   | 利用者さんの事をスタッフ一人一人がさらに知ることができるように、朝礼、終礼の情報共有方法を効率的に改善していく。利用者家族への説明やコミュニケーションを深めていく。 |
| B. 事業所の<br>しつらえ・環境              | 事業所独自の会報に、イベント告知、お知らせなど入れ各戸に配布する。頻度は話し合いで決める。  | 当事業所の行事の様子を会報に載せて2か月に1回ご家族に郵送している。運営推進委員さんにも配布している。コロナ禍で、地域のイベントは中止になり交流はできなかったが事業所独自の行事は予定通り実施し、利用者さんには楽しんでもらった。 | 会報誌を見ることで、少しは事業所の様子がわかる。事業所内へはほとんど行ってないのでよくわからない  | 会報誌を2か月に1回配布していたが、事業所からのお知らせ等も含めて毎月発行しながら事業所の様子を発信していく。                            |
| C. 事業所と地域の<br>かかわり              | コミュニティーで行っている「こけない体操」に参加してみる。スタッフが担当している利用者さんの地区のこけない体操に参加し地区の方との交流をする。  | コロナ禍でこけない体操には参加できなかった。  | 地区としてもコロナ禍で行事ができなかった。地域住民の支援にかかわることに関しては町内会でも考えていきます。こけない体操への参加などは地域包括でつなげはできるので声掛けしてください | 地区の行事への参加をしていく。地域包括支援センターが開催するアルツハイマーデーなどの企画に参加しながら、地域に利用者さんが関わり楽しめるように取り組む。       |
| D. 地域に出向いて<br>本人の暮らしを<br>支える取組み | 地域の資源をまとめる。全員で取り組む。  | 地域の医院受診の同行や、買い物支援などはできたが資源などをまとめることはできなかった。   | もっと地域の民生委員さん等との情報共有が必要なのではないか   | コロナ感染予防をしながら、地域へ出かけていくことを心がける。<br>ボランティア情報を集める。<br>地域ケア会議へ全員が1回以上参加する              |

|                    |  |  |                          |   |
|--------------------|--|--|--------------------------|---|
| E. 運営推進会議を活かした取り組み | オンライン研修や、オンラインでの情報交換に積極的に参加する。           | オンライン研修も参加できるものには参加した。運営会議は3回書面会議とさせていただいた。              | 出した意見についての取り組みはできていると思う。 | 運営推進会議へスタッフの参加を増やす                                  |
| F. 事業所の防災・災害対策     | 地区との避難訓練は継続課題。区長さんに協力を依頼する。個人の避難計画を作成する。 | 日本原地区の区長さん、たちが避難訓練に参加して下り貴重な意見を頂くことができた。個人の避難計画については作成中。 | 地区としても継続課題               | 地区の避難訓練へ参加する。区長さんや地区の方と連携していけるように意識する。個別避難計画を完成させる。 |